

2022年10月25日、2年目対象に膝関節疾患患者へのリハビリテーション実施に向けて、膝関節の勉強会を行いました。

最近、当院では人工関節とくに人工膝関節全置換術の手術数が増えつつあります。人工膝関節全置換術後は、急性期にリハビリテーションでどれだけ機能障害を改善するかが重要です。

そこで、この勉強会では座学で膝関節に関する基礎的な知識(運動学・解剖学)の復習と、応用力の向上を目的に私の臨床経験を伝えました。今後は、座学で膝蓋大腿関節や膝関節周囲軟部組織の基礎的な知識の復習とともに、評価や治療技術向上のためにOJTを行ってまいります。

今後も、リハビリテーション科は患者様に提供するリハビリテーションの質を向上するために様々な取り組みを行ってまいります。

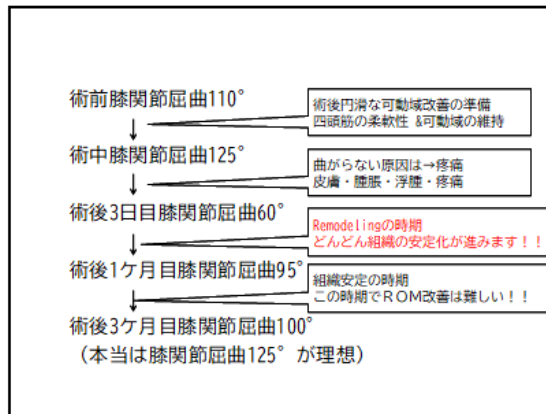
(文責 藤原 聡)

【勉強会の資料(一部抜粋)】

膝関節疾患患者へのリハビリテーション実施に向けて

膝関節？

リハビリテーション科 藤原 聡



Mechanical Stress
が原因の疼痛

↓

機能改善により
疼痛の軽減が可能

運動療法での**対処可能**

chemical Stress
が原因の疼痛

↓

機能改善より先に
炎症の沈静化を優先

運動療法での**対処困難**

ミミズを作っていませんか?
無駄な血腫を作っていませんか?
腫れたまま動かしていませんか?

問題提起

臨床では膝関節疾患、特にTKA後において伸展・屈曲制限を認める症例を多く経験する。

1. ROM制限が生じることをどう思いますか。
2. どのような制限因子があると思いますか。
3. 制限因子がないのにROM制限があることをどう思いますか。